



▲ さこだひな



▲ PN えりちゃん



▲ 松尾千恵子

読者の広場は皆さんから寄せられたハガキなどでつくるページです。

今月は寄せられたお便り56通の中からチョイス



今月のテーマ

夢(ゆめ)

「夢」

浜竹茂登子さん(蒜山中福田)

今年中卒の孫は、わたしの心配や説得に耳も貸さず、夢に向かって飛び出していきました。そもそも夢を与えたきっかけを作ったのはほかならぬわたし。三つ四つのころ、子守にてこずり一個のサッカーボールを買い与えたら、すっかり気に入って、家の中でもシュート！小学校中学校と日増しに拍車がかかり、雪中も灼熱もなんのその！周囲の心配と期待の中、希望通りの学校へ！でも、そこは予想以



ボールを奪い合うサッカー部員

上にハードな毎日で、連休といえども一日半日の休みも無く、仕方なくこの親も夕食に連れ出し、つかの間のだらんを過ごすありさま。夢のためとはいえ十五歳の孫の頑張りを耳にするたびに、わたしも励まされています。

「かなわぬ夢」

岩見千里さん(山久世)

わたしはかなわぬ夢を持っています。毎日利用している農道のことです。山の中腹にうねうねと続く細い道、いつ山頂から落石があるか分かりません。上り坂、下り坂、一足間違えば百メートルもの崖から落ちる危険もあります。わたしはいつも杖を頼りに田んぼに通っており、三十分ほどで田んぼに着き、やれやれと田んぼのあぜに腰を下ろし、かなわぬ夢を見ています。向こうに見える道路に渡れたらなんと！何年か前に、川に石を並べてコンクリートを敷いて通っている村を見ました。それは水面下の橋というそうです。わたしに知恵も体力も無く、ただただかなわぬ夢とあきらめています。

ここからは、皆さんから寄せられた「テーマ」以外のお便りをご紹介します。

「国文祭の成功を願って」

稲葉啓子さん(落合垂水)

いけばなは四季折々の自然の美しさに感動し、その姿の美しさ、いのちの尊さを表現し鑑賞する芸術です。私たちは市内で小原流いけばなを通じて、「和の心」を学んでおります。私たちが所属する財団法人小原流津山支部では、3月27日から3日間、創立45周年記念花展「花雅(はなみやび)」をアルネ津山文化展示ホールで開催しました。今年岡山県で「第25回国民文化祭」が開催されることから、今回の開催にあたり真庭市と津山市にそれぞれ金一封を贈呈さ



創立45周年記念花展「花雅」の様子

せていただきました。私たちは岡山市のもたろうアリーナと武道館で「いけばな展」に開催する予定です。真庭市で開催される「美術展(工芸)」と「ミュージックフェスティバル」も盛大に催されますことを願ってやみません。

8月号の読書の広場

テーマは

「雨」です。

夏の夕立、冷たいけれど濡れていたい雨、相合傘の思い出など、雨について、2000字程度でお寄せください。

川柳の兼題は

「飴」です。

お便りは、5月号に同封したはがきをご利用ください。川柳の締め切りは6月30日(木)です。

7月号では、

「空」

についてお便りを募集しています。(6月10日締め切り)

うちの子 1歳 PhotoBook



▲ PN ムック

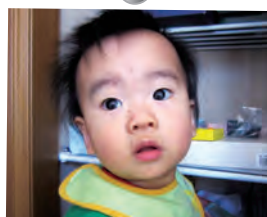


▲ PN プーちゃん♡

★対象
発行月に1歳の誕生日を迎えられる市内在住のお子さん。
★応募期限
誕生月の前の月の10日まで
★掲載内容
①お子さんの写真②氏名(ふりがな)③生年月日④住所⑤応募者のお名前と続柄
★応募および問い合わせ先
総務部秘書広報課
〒717-0013真庭市勝山53-1
TEL0867-44-2613 (FAX2931)
E-mail: hisho@city.maniwa.lg.jp
※応=応募者



いけだ そうた
池田 崇汰くん
H21.5.23 生まれ(禾津)
応:久代さん(母)



えのばら たくと
榎原 琢人くん
H21.5.18 生まれ(月田)
応:知子さん(母)



いそだ てっしん
磯田 徹心くん
H21.5.8 生まれ(赤野)
応:柴田和子さん(祖母)



たかしま いおり
高島 衣織ちゃん
H21.6.24 生まれ(目木)
応:英樹さん(父)



すがはら ちゆめ
菅原 千夢ちゃん
H21.6.11 生まれ(勝山)
応:陽二さん(父)



しのざき だいすけ
篠崎 大介くん
H21.5.19 生まれ(勝山)
応:鷹敏さん(父)



しみず はるき
清水 春貴くん
H21.5.12 生まれ(蒜山上徳山)
応:謙太郎さん(父)



もりや ななき
森谷 七稀くん
H21.6.25 生まれ(落合垂水)
応:麻衣さん(母)



おおした たくや
大下 拓也くん
H21.6.21 生まれ(上市瀬)
応:裕志さん(父)



すぎはら るきと
杉原 琉輝斗くん
H21.5.20 生まれ(開田)
応:奏子さん(母)



せしま ゆいか
瀬島 由衣花ちゃん
H21.5.13 生まれ(台金屋)
応:潔さん(父)

Maniwa Match Making サマーキャンプ in 美甘

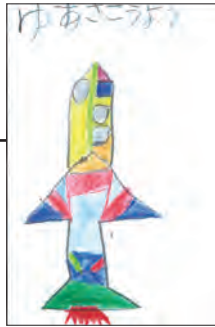
まにわ縁結び推進委員会主催



【日 時】平成22年 7月 3日(土)15時集合〜4日(日)10時解散 【場 所】クリエイト菅谷(美甘)
【対 象】□男性:市内在住で30歳以上の独身の方 □女性:独身の方で年齢、お住まいは問いません
【定 員】男女各20名(定員を超える場合は抽選)
【内 容】バーベキュー、シールラリー、キャンプファイヤー(雨天時、キャンプファイヤーは中止します)
【参加費】□男性:6,000円 □女性:4,000円 【申込期限】6月15日(火)
【申し込み先】真庭市企画政策課 木田 TEL 0867-44-2639 FAX 0867-44-2932 □kikakuseisaku@city.maniwa.lg.jp



▲ 匿名希望



▲ ゆあさこうよう



▲ 中尾早希



不思議な体験がいっぱい
池田舞有さん(蒜山中福田)
普段から電波には少し興味があつたので、「楽しい電波体験教室」に参加しました。中でも、静電気体験コーナーが一番楽しくて、静電気を発生させた塩ビパイプでビニールひもをさいて作った電気くらげを上手に受けられた時はとても嬉しかったです。どのコーナーもとても勉強になったし、機会があれば、モールス符号を覚えて通信もしてみたいと思いました。

みんなで盛り上げたい
野田雄之さん(勝山)
あつ晴れ！おかやま国文祭「ミュージック・フェスティバル」の路上アコースティックライブ・プレイイベントを開催しました。市実行委員会音楽部会長として裏方も務めながら、息子たち四人とステージ出演もしました。今回は、市内のバンドだけの出演でしたが、11月の本番には全国各地からミュージシャンが集まります。おもてなしの気持ち



見晴らしも気分も最高でした
西山久子さん・太陽さん(落合垂水)
「三平山へハイキング」に孫と二人で参加しました。3回目の挑戦ですが、今回は晴

取材先で、こんにちは。

真庭

ま にわ びと

で迎え入れ、一緒に楽しみ、国文祭を盛り上げましょう。



天に恵まれ、とても気持ちよかったです。登山は、初めは緩やかな傾斜で、途中にはいろいろな植物の新芽が出て春を感じることができましたが、だんだんときつくなり、8合目を過ぎた辺りから頂上に着くまではとてもしんどかったです。でも、登りきってみると360度のパノラマは見晴らしが最高で、新緑がきれいで、それまでのえらさも忘れられました。これから、登れる限り孫と一緒に参加したいと思っています。

図書館へ行こう！ 本の紹介

湯原ふれあいセンター図書室

〒717-0406 真庭市豊栄 1515
TEL: 0867-62-2011 FAX: 0867-62-2092
開館時間: 9:00~17:00(土・日は不定休)

今月おすすめの本

「真鶴」

川上弘美／著 文芸春秋



12年前に夫の礼は「真鶴」という言葉を日記に残して失踪した。不在の夫に思いをはせつつ新しい恋人と逢瀬を重ねている京は何かに惹かれるように、東京と真鶴の間を往還するのだった。川上弘美の独特の世界に困惑させられながらも引き込まれる、もどかしい「女」の物語。

「おいしい紅茶の愉しみ方」

桑原珠玉／著 PHP研究所

紅茶の定義とは。どこの国で作られ、どのくらい種類があり、どんな人達に愛されてきたのかなど、基礎知識から、おいしい紅茶の入れ方、紅茶に合うお菓子のレシピまで、フルカラーで丁寧に説明。普段飲んでいるティーバッグ紅茶も、やり方次第でグンと美味しくなります。



「すてきな三にんぐみ」

トミー・アンゲラー／著 今江祥智／訳 偕成社



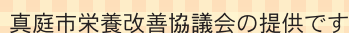
黒マントに黒ぼうし、泣く子も黙る三にんぐみのどろぼう。けれど1人の子どもと出会い、三にんぐみはすてきなことを思いつきます。最後の場面はあたたかい気持ちになれる絵本。色と色のコントラストも素敵です。

「さっちゃんのまほうのて」

田畑精一／野辺明子／志沢小夜子 著 偕成社



右手に5本の指がないさっちゃん。ままごと遊びをする時に、だれがお母さんになるかで喧嘩に。友達に「手のないお母さんなんて変だ」と言われ、みんなと違うことに気づき、そして、大きくなっても指がはえてこないという真実を知る。家族の思いがぎゅっと詰まった、とても感動する絵本。



即席ポタージュスープを使ってちょっと手間をかければ、おいしいスープのできあがり。

- ・ニンジン 40g
- ・タマネギ 120g
- ・水 6カップ
- ・ポタージュスープの素 4人分
- ・パセリ 少々

- ①ニンジンは短冊切り、タマネギは半分^①に切って薄切りにする。
- ②半量の水(3カップ)で①のニンジン、タマネギを煮込んでやわらかくなら残り^②の水(3カップ)を加えて煮る。
- ③沸騰したらポタージュスープの素を加えてかき混ぜ、好みで塩、こしょう(分量外)で味をととのえる。

エネルギー87kcal たんぱく質1.1g
脂質3.2g 食塩1.1g

今月のレシピ
提供は

本田多喜子さん
(中和支部)



▲PN ちさっち✌



▲PN 虹・駿のママ



鹿田地区に広がる田んぼに菜の花が色鮮やかに咲きました。見ごろを迎える時期には、付近で菜の花祭りが行われ、菜の花のてんぶらなどが振舞われます。

選:久世川柳会 則金 泉さん

8月号の兼題は「飴」

支えられて生きております家族の輪
いたわりの気持ちが見えし家族愛
家族皆揃えば時の早く過ぎ
雨降りの梅雨の晴れ間に家族寄り
ほどほどの距離で家族を保つて
神様が選り揃えてこの家族
平凡に今朝も家族の無事願う
核家族お袋の味伝わらず
怒らない家族に見せない内面鏡
お茶の間は賑わう家族の娯楽室
不器用な家族が集う意は通じ
食卓を囲む家族の泣き笑い
一つ屋根温い家族の灯が点る
耳遠き母真中に家族談
最後まで生きて家族の掌が温い
離れ住む家族に四季の定期便
しみじみと家族の良さを病んで知る
軸吟 幸せな家族支える車間距離

国	久世
庄司ゆかり	久世
菊池俊男	本郷
田口博	久世
西本艶子	岩井谷
由井堅史	蒜山初和
すみれ	古見
武村悠々	上水田
井田美紀子	勝山
庄司美佐恵	久世
大森喜久恵	西原
永田寿道	樫東
若田万寿子	落合垂水
岸本三子	下河内
横山とも子	久世
田中久栄	久世
河部幸子	落合垂水
いずみ	

バルーンアートで世界一

野村さんが今回出場した「WBC（ワールドバルーンコンベンション）」は、以前、アメリカで長年開催されていた、バルーンアートの世界大会「IBAC」を大手バルーンメーカーが復活させた大会です。世界中のバルーンアーティストたちがこの大会の復活を待ち望んでいました。

野村さんもそんなアーティストの一人。幅5畳もの巨大な作品を10人のスタッフとともに27時間かけて仕上げた「花魁（おいらん）」など、3作品（3部門）で大会に挑みました。その結果、それぞれの作品が高く評価され、大会の最高賞となる「WBCマスターデザイナー」を受賞しました。

アルバイトをしながら大好きな絵の勉強を

続けていた野村さんが、初めてバルーンアートに触れたのは、1998年の短期セミナーのこと。「色鮮やかで立体的なバルーンアートが自分にあっていたのかもしれない」と話す野村さんは、これまでの10数年間、数々の大会に出場し好成績を収めました。そして、昨年1月には会社を設立。イベント会場をバルーンで装飾したり、イベントでバルーン教室を開いたり、バルーンギフトを販売したりしています。

「子どもたちに大人気のバルーンですが、大人の皆さんにも日常生活にバルーンを取り入れて、楽しんでほしい」と野村さん。家にお花を飾るように、日常的にバルーンが飾られる。そんな日を夢見ています。



の むらまさ と
野村昌子 さん
久世(33)



左：WBC授賞式での感動の一場面
下：圧倒的な存在感のラージスカルプチャー作品「花魁（おいらん）」
（写真提供：野村昌子さん）



「第1回ワールドバルーンコンベンション」で最高賞を受賞

久世在住のバルーンアーティスト野村昌子さんが、テキサス州ダラスで4月15日～18日まで行われた「第1回ワールドバルーンコンベンション」に出場し、最高賞となる「WBCマスターデザイナー」を受賞しました。

研鑽に榮譽
クローズアップ
close-up

【国際大会の主な参加経歴】

- 2002年 IBAC（世界大会シカゴ）ノンラウンドスカルプチャー部門優勝
- 2007年 Ballon Art World Challenge（タイ）スモールスカルプチャー部門優勝、総合準優勝
- 2009年 Ballon Art World Challenge（タイ）ワンマンバルーンコンテスト優勝、デュオクリエイティブバルーンコンテスト優勝
- 2010年 World Balloon Convention（ダラス）WBCマスターデザイナー受賞、ラージスカルプチャー準優勝、バルーンコラム3位

叙勲

春の叙勲

旭日双光章



県木材協同組合連合会長
鳥越康生さん(台金屋)

平成19年から県木材協同組合連合会長を務める。地域に貢献できる産業を目指し、木材の需要拡大と組合員の技能向上に尽力される。今回の受章を先輩方に感謝し、業界のさらなる発展に意気込まれる。

瑞宝双光章



元美甘村消防団長
松尾弘通さん(美甘)

昭和29年に美甘村消防団に入団以来40年、消防団の発展に尽力し、団長などを歴任。県消防協会理事なども兼務。強い責任感と郷土愛護の精神をもって消防業務に従事し、消防体制の強化に貢献されました。

瑞宝単光章



元郵政事務官
日並康輔さん(法界寺)

昭和40年に落合郵便局に就職し、約35年間配達業務に従事。さまざまな苦労にも、仲間に助けられ、地域の人に大事にされるから続けられたという感謝の気持ちで、誠意を持って業務を遂行されました。

危険業務従事者叙勲

瑞宝双光章



元2等陸尉
近藤三郎さん(山久世)

昭和42年に陸上自衛隊に入隊。退職される平成14年まで高射特科に所属し、国土および施設などの対空の防衛を担当。アメリカや全国を回り、研修・訓練を積み、国の防衛、治安の維持に尽力されました。

瑞宝単光章



元3等陸尉
吉田正男さん(見明戸)

昭和42年に陸上自衛隊に入隊。普通科、高射部隊などに所属し、衛生指導および医療救護の業務に従事。阪神淡路大震災時には、患者ヘリ空輸の連絡調整を担当するなど、円滑な隊務運営に貢献されました。

故人に 叙位・叙勲

●正六位

落 富雄さん(月田) 89歳

元勝山町立勝山小学校校長(平成22年3月4日逝去)

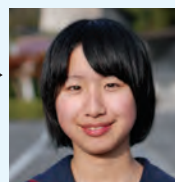
研鑽に栄誉

市内で受賞・出場をされた皆さんの中から、全国・県高位以上を基準に掲載させていただきます。情報をお寄せください。(敬称略)

■第26回成田山全国競書大会

3/7 千葉県 成田山賞

岩本由津穂(勝山)▶



■第2回小倉BQ食KING 一天下分け麺の戦い2010ー



3/27~28 福岡県
初代「天下一之焼麺チャンピオン」
総合優勝

ひるぜん焼そばー

◀ひるぜん焼そば好吃とん会

■第86回日本選手権水泳競技大会

4/13~18 東京都 背泳ぎ50m、100m

■ジャパンオープン2010

6/4~6 東京都 背泳ぎ50m、100m

赤木彩乃(勝山)▶



■平成22年度文部科学大臣表彰



4/23 岡山市 創意工夫功労者賞
株式会社デンソー勝山ー
◀山口嘉輝(中)

■第26回静岡国際陸上競技大会

5/3 静岡県 400m障害

為本康平(台金屋)▶



■第15回全日本少年少女空手道選手権大会

6/26 大阪府

■第14回大阪城杯夏の陣 H21/8/30

中学1・2年 男子重量級 第3位

◀川元啓次郎(月田)



上を目指して(中国大会や県大会など)

■中国地方春のとおきおきの景色と食 3/2 広島市

真庭市「旭川の春風 のれんの町並みと舟形羊羹」

■第27回岡山県児童生徒新春競書大会 3/28 岡山市

岡山県知事賞 池元 真(勝山)、山下さくら(月田)

特賞 磯田まどか(勝山)、竹江夏希(勝山)、池元成海(勝山)
岩本由津穂(勝山)、兼田睦美(勝山)、辻実奈子(三田)

■第24回福武哲彦教育賞 5/17 岡山市

岡山県立久世高等学校

新緑や町並みゆったり巡る

観光回廊真庭ゆったりウォーク2010

ぐるっと まにわ 真庭

まちの話題



中国勝山駅前の商店街を歩く参加者たち（5/22）

新緑の真庭を歩く「観光回廊真庭ゆったりウォーク2010」が、5月22日に勝山町並み保存地区・旧遷喬尋常小学校一帯で、23日に蒜山高原一帯で開催され、全国から延べ650人が参加。3から20の間で設定された6コースに分かれて市内をめぐるしました。参加者らは、道端の草木に目をやったり、景色を写真に納めたりしながら思い思いのペースでゴールを目指し、笑顔で完歩証を受け取っていました。

県指定天然記念物「カワシンジュガイ生息地」を保護しようと、4月26日、カワシンジュガイの成長には欠かせない、宿主となるアマゴ約300匹を、指定地の天谷川（蒜山上徳山）に放流しました。この日放流場所に集合した、川上小学校4年生18人と同保育園年長児17人は、宮尾諭さん（蒜山上長田）から貝の生態について説明を受けた後、「大きくなつてね。」と声をかけながら、アマゴを次々と放していました。

カワシンジュガイを守れ カワシンジュガイ生息地アマゴ放流



アマゴを放流する川上保育園児たち



思い思いに楽しむキリタロー楽市のお客さんたち

4月25日、JR美作追分駅に併設するキリタローの館で「キリタロー楽市（キリタローの館復活委員会主催）」が開かれました。地域ににぎわいを取り戻すことを目的に、昨年12月と今年2月に開催したキリタローの館復活祭を、定期（偶数月）の第4日曜日開催することにしたもので、特産品販売やそば打ち体験などの出店が用意されたほか、追分公園でのクイズDE宝探しも行われ、買い物客や親子連れらで賑わいました。

地域活性化を目指す キリタロー楽市

4/29 花や団子でにぎわう里山

上田春まつりが、4月29日～5月5日、普門寺周辺(市原山上)で行われました。市内外から訪れた家族連れらは、見事に咲いたシャクナゲや手作りの「昔そばきり」、「みそ団子」などで里山の春を満喫しました。



5/3 山中一揆犠牲者の霊を慰める

江戸時代に美作地方一帯で起こった山中一揆で、処刑された犠牲者の霊を慰める、義民まつり(山中一揆義民顕彰会主催)が義民の丘(禾津)で開催され、約200人が参加。護摩をたき、冥福を祈りました。



5/8 大切に優しく見守ってください

県のレッドデータブックで絶滅危惧(きぐ)Ⅰ類に指定されているサクラソウの観察会が蒜山上徳山で行われました。参加者らは、素朴でかわいいサクラソウをカメラに納めるなどして鑑賞しました。



5/9 お茶の産地で新茶の味に舌鼓

古くからお茶の産地として知られる富原地区で第7回富原お茶まつりが開かれました。地元小学生扮するお茶娘とバスツアー参加者などが、お茶摘み体験をしたり、利き茶を楽しむなどして春を味わいました。



5/12 百歳おめでとうございます

西由さん(山田)が5月10日に100歳を迎えられました。入所中の施設では、5月生まれの皆さんの誕生日会が開かれ、家族や施設職員、友人などが参加して、記念品の贈呈や演芸鑑賞などで長寿を祝いました。



スタンプラリー制覇をめざしてスタートする参加者

かつやま町並み保存事業を応援する会(行藤公典会長)主催のスタンプラリーが、5月3日、勝山町並み保存地区で開催されました。沿道の土産物店や民家など計81軒の協力を得て、軒先に設置されたのれんと同じスタンプを所定の用紙に計20個集めれば、くじ引きに参加でき、景品がもらえるというしくみ。市内外から訪れた観光客らは、色とりどりの個性豊かなのれんを眺めながら町並みの散策を楽しみました。

個性豊かなのれんを楽しむ
のれんスタンプラリーin勝山のれん街道



眺めを楽しみながら同行したガイドの話を聞く参加者

自然の雄大さを肌で感じながら、参加者同士の交流を深めようと「三平山へハイキング(しらうめスポーツクラブ主催)」が5月9日、蒜山地区の三平山で開催され、約40人が参加して山登りを満喫しました。快晴に恵まれ、参加者は新緑の木々を眺めながら登山。山頂に近づくにつれて蒜山三座や大山が一望でき、約1時間後に到着した山頂で、おいしい昼食と記念撮影などを楽しみ、素晴らしい思い出づくりができました。

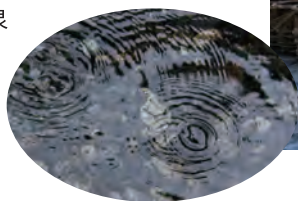
素晴らしい展望が魅力
三平山へハイキング

温泉の恵みに感謝

露天風呂の日 6月26日(土)

6月26日を「6・26（ろてんぶろ）」と語呂合わせで読み、自然の恵みである温泉と、湯原温泉郷を愛してくれる人々に感謝の気持ちを込め、「露天風呂の日」が開催されます。湯原温泉街では、午前6時26分からの湯取りの儀式に始まり、温泉関係者や入浴客が力を合わせて砂湯を掃除する「砂湯の一斉大掃除」、湯原地内11カ所所で湧き出る温泉を砂湯の湯と融合させる「とうとうの湯」などが行われるほか、旅館やホテルでは内湯の無料開放もあります。

写真上：砂湯の一斉大掃除を行う入浴客ら
右：湯原地内11カ所から集められた温泉の湯
下：ふつふつと湧き出る温泉



湯原温泉郷キャンペーン

6月に湯原温泉一帯でキャンペーンが実施されます。温泉郷の旅館・ホテル、飲食店自慢の一品を味わえる「温泉グルメフェア」、公衆浴場、旅館・ホテルのお風呂に特別料金で入浴できる「湯原温泉いい湯フェア」のほか、地元案内人と湯原温泉郷の見どころをまわる体験プランや、生きた化石といわれるオオサンショウウオを見学するプログラムなども実施されます。

問 湯原観光情報センター TEL 0867-62-2526

1歳ちゃん紹介コーナーが始まりました。どの子を見ても本当にかわいいですね。しかし、子育ては楽しいことばかりではなく、虐待などの問題が起きることも耳にします。親も子もつらい思いをし、ないために、相談できる人がいて、地域ぐるみで育てていけるような環境づくりに力を入れなければと考えさせられています。 福島

まにわがスキッツ!!
編集後記

脂汗をかきながら撮影した表紙写真騒動からちょうど一年。またもや子どもたちにご協力いただきブレッシャーに押しつぶされそうになりながらの撮影となりました(笑)。電波実験をでんじろう先生の科学実験と似たものと勝手に思いこんで行き、少々予定と違ったと思いきや、一つ一つの実験がとても不思議で感動。童心にかえってすごく楽しめました。 長須

総合計画後期基本計画の草案を検討するなかで、「広報紙をみんな読んでいるのだろうか?」という意見が出された。インターネットを使えば世界中の情報が瞬時に手に入る時代で、広報紙に求められる役割とはいったい…。広報紙だからできる市民のための情報誌にと意気込んでいたものの、市民ニーズの検証が今後の大きな課題です。まずは、「広報まにわ行き」はがきで皆さんの声を。 宮地